

**令和5年度
遊佐町総合戦略外部評価
ヒアリング調書**

令和6年2月19日（月）外部評価実施

令和5年度 総合戦略外部評価ヒアリング 調書

事業名	空き家利活用促進事業		
担当課	企画課	担当係	定住促進係
日時	2月19日（月）13：29～13：53		
質疑応答 (発言者)			
委員	資料にある無印良品のお試し住宅のお披露会の様子はどうだったか。		
説明員	移住体験するための施設3棟目として整備。無印良品から企画提案していただき整備をしたものである。3日間一般公開160名ほどの来場があった。		
委員	無印良品の移動販売も来ていたようだが。		
説明員	移動販売に来た方が、お試し住宅を内覧していくなど相乗効果があり内覧に結び付いたと感じている。		
委員	家財など、家の中に入れているものも無印良品でコーディネートしたのか。		
説明員	町で10年間空き家を借り上げてお試し住宅として整備。企画、デザイン、家具、家財の調達を含めた無印良品で行っていただいた。		
委員	集落支援員というのが身近に感じたことはないが、現在何人いてどのような活動をしているのか。		
説明員	現在は2人の集落支援員が、週3日活動している。活動内容として、区長集落の空き家の状況把握、移住者と集落との橋渡し、挨拶回り、移住した後のフォローなど多岐に渡る。100歳体操や地区ごとのカフェなどにも顔を出している。		
委員	まちづくりセンタの行事には一生懸命に来ていただいている。		
委員	空き家の改修の補助に関して、町の事業者を使わないと対象外になるという縛りはあるのか。		
説明員	そのような制約はこの補助金にはない。リフォームする人が依頼することになるので、個別で対応してもらおう。		
委員	9月30日開催した空き家無料相談会の来場者数は。		
説明員	4世帯ほどだったかと記憶している。相談できてよかったという声が多い。		
委員	空き家が出ないのがベストではあるが、いろいろな人と連携を取りながらやっていただいていると思う。		
委員	一人暮らしの方が亡くなった時に家族が遠方にあることが多く、家は残す方が多いが、人がいないと家はすぐ劣化する。どこに相談すればいいかわからないというところの1番最初のコンタクトは亡くなった時なのではないかと感じる。町内で住んでいる人はチラシや広報で目に付く機会があると思うが、町外・県外に住んでいる方の目には止まりにくいのかもしれない。		
説明員	空き家の状況は把握はしているが、所有者個人の様子などの情報は持ち合わせていない。具体的に動き出すかは所有者の判断に委ねられており、問い合わせがあった物件、所有者に関しては必要な手続きを案内する。		
委員	どこに相談するかわからないという場合に、窓口は定住促進係でいいのか。		
説明員	定住促進係の所管は、賃貸・売買など空き家を利活用できる空き家であり、解体ということであれば危機管理係になる。		
委員	空き家が利活用できる、できないという判断基準は誰がしているのか。		
説明員	空き家実態調査を年1回行っており、県の指標を示したチェックシートに応じてランクをつける。空き家バンクの相談があった時に基礎や躯体について確認し判断しているということである。		
外部評価の意見	ホームページ等での情報発信を工夫し、各機関と連携して空き家バンクの登録物件の確保に努めていただきたい。		

令和5年度 総合戦略外部評価ヒアリング 調書

事業名	移住・交流推進事業		
担当課	企画課	担当係	定住促進係
日時	2月19日（月）13：53～14：19		
質疑応答 (発言者)			
委員	R成果数値について、6世帯ということであるが、増える見込みは。		
説明員	2月にもう1世帯移住予定でトータル7世帯にはなる見込み。		
委員	どのくらいの年齢層をターゲットとして移住定住政策を実施しているのか・		
説明員	基本的には子育て世帯をターゲットにしている		
委員	自分の地区には若い世帯よりも、退職後に移住する世帯が多いという実感。		
説明員	県外から移住した場合の水道料金の補助や、リフォームの補助については若い世帯を対象にしている事業もあり、子育て世帯に手厚い支援を行っており子育て世帯の移住という施策に重点を置いているということである。		
委員	成果数値とは移住相談をした人のカウントか。相談窓口を経過せずに転入するケースもあるのか。		
説明員	相談しておらず、個人的に遊佐に転入してきた方は把握しておらず成果数値としては計上していない		
委員	東京でのセミナー参加者はどのくらいか。		
説明員	資料にある6月に開催した際の参加者は12、3人ほど。移住体験ツアー参加者の2人のうち1人はこのセミナーに参加してくれた人である。		
委員	時期を選んだりということはないのか。		
説明員	今回はターゲットを絞って鳥海登山というテーマで実施したということである。		
委員	若い人を呼びたいと思ったときに、手厚い支援をしているが、仕事の面で働く場所・若い人がどう働けるのかという観点は重要。就職の部分でのあっせんは行っているか。		
説明員	各所管で協力しながらやっており、仕事の部分に関しては産業創造係やハローワークでの求人などを紹介しているという状況である。		
委員	PRについてもっと色々工夫し、うまく取り組んでいただきたいと感じる。遊佐町の良さを発信してほしい。		
外部評価の意見	各機関との連携を密にして、より効果的な情報発信に努めていただきたい。		

令和5年度 総合戦略外部評価ヒアリング 調書

事業名	遊佐ブランド推進事業		
担当課	産業課	担当係	産業創造係
日時	2月19日（月） 14：34～15：02		
質疑応答 (発言者)			
委員	ふるさと納税12億円突破ということであるが、品物はECサイトに掲載しているものが多いか。		
説明員	返礼品としてはお米が大変人気で9割以上である。特に好評なのは定期便といって、毎月お届けする返礼品が人気。		
委員	定期でお渡しする場合、その管理はどうしているのか。		
池田	保管は各事業者で行っている。		
委員	ECサイトの商品数は？また、新しく商品を開発したいとなった時にどのようなプロセスになるのか。		
説明員	ECサイトでの掲載数は約100品。新しく開発を希望される場合は、町で相談を受けることもあるし、第5事業部の事務所にご相談をいただきたいと思っている。		
委員	旧八福神の1階のスペースはどういう使い方をしているのか。		
説明員	1F部分の共同加工場では試作のほか衛生許可をとっていれば加工、販売も可能。ただ保健所からはこれ以上許可を増やすことは難しいといわれている。他に自由に使える貸工房が2つあり遊佐カレーと漬物業者が今使用している。町としては共同加工場で6次産業の体験・試作をしていただき、最終的にはご自宅や別の事務所などで開発していただくことが理想。		
委員	農家が高齢化になっており、たんぼをたくさん持っているが今後どうなるか心配する声が多い。鶴岡、三川で会社として稲作をになっている事業者がある。遊佐でもそういう動きはあるのか。		
委員	遊佐では法人化しており、個人でできないたんぼを法人で預かってもらう取り組みをしている。		
説明員	1次産業の後継者の問題は大きい。若い方が農業に入っていくためのコーディネートは町としてやらなければいけないと考えている。		
委員	ECサイトに掲載することによって米だけじゃなくて、いろいろな特産品の売り上げを増やしていこうという取り組み。成果数値が20%増ということだが、3月までにはまだ売り上げ額も増加する見込みであり、R6年度の目標も上がってくということ。		
外部評価の意見	ネット販売を取り扱うことで、特産品のリピート率を増やし、売り上げ額の向上を図っていただきたい。		

令和5年度 総合戦略外部評価ヒアリング 調書

事業名	若者を中心としたビジネス創出事業		
担当課	産業課	担当係	産業創造係
日時	2月19日（月）15：02～15：25		
質疑応答 (発言者)			
委員	高校生が社会に出た時のコミュニケーションは必要。生活の中で実感している。		
委員	エルパに2か所コワーキングスペースがあるのは承知してて、どう使うんだろうと思っていた。コワーキングスペースというのは使用料などを想定しているのか。		
説明員	場所を借りるための賃借料は発生することを想定している。コワーキングスペースは仕事をする場であるので、一定程度静かな環境が必要だと考えている。コワーキングスペースは一定のニーズがあると考えており、Web会議などができる環境は整える必要があると考えている。		
説明員	旧八福神の利活用に関しては、民間企業から借りている物件で、コワーキングスペースを大掛かりに整備することは躊躇している。		
委員	今時リモートワークが当たり前の世の中になってきた。Wi-Fiの環境設備はもちろん遊佐のここにいけばみんなできるという企業、仕事の中心となる施設・場所を作っていたくことを考えていただきたい。		
委員	始まったばかりの事業であるので、発展できるように工夫をして頑張ってください。		
外部評価の意見	5つの目標に沿って、事業を進めていただきたい。		

令和5年度 総合戦略外部評価ヒアリング 調書

事業名	あわび陸上養殖事業		
担当課	産業課	担当係	水産林業係
日時	2/19(月) 13:30~14:00		
委員	予算を組んで支援しているのか、R5予算はどれくらいか。		
説明員	町単独の予算で実施している。R5は約1,000万円の予算となっている。		
委員	問い合わせ数等が増えているとのことだが、どれくらいの数字か。		
説明員	件数は把握できていないが、R4から食の都庄内でPRを開始し、問い合わせが増えた。現在、販売はふらっとで行っているため、問い合わせはそちらにいただいている。		
委員	売上はどれくらいか。		
説明員	売上は把握していないが、歳出が圧倒的に多い。ふらっとへは300~400円/匹で頒布。		
委員	ブランド化はどのようにしていくのか。		
説明員	まずは安定的なあわびの供給。遊佐町総合交流施設株式会社のブランド事業部と加工品開発等も含め周知を図っていく。集客につながることを見越して事業化を検討。		
委員	夏場に大量死があったとのことだが、気候変動への対策は何かあるか。		
説明員	専門機関にも相談しているが、最終的には施設の改修が必要（冷却装置）。ただし、施設改修まで行う予算がないため、加工品用に夏前に売ることや、放流用でなく養殖用稚貝を購入して2年で育成させるなど検討している。		
委員	2年で販売まで持っていくのは大変だと感じる。ふらっとでの卸売では相当数の個体が必要となると思うが、計画はあるのか。		
説明員	5か年計画の策定のため、目標個数等を関係機関と連携しながら検討しているところ。		
委員	なぜ遊佐であわびの養殖をはじめたのか、あえてあわびにした理由はあるのか。		
説明員	元々鶴岡の水産試験場で実験していたがH27で終了したものを遊佐町が引き継いだ形。岩ガキの収穫量が少なくなってきたので代わる特産品を探している。		
委員	目標値の見直しは必要。あわびは料理するには特殊な食材、なぜふらっとで販売か。PRの仕方を考えていければ販路も増えると思うが、そもそも出荷できる数がない。出荷個数を増やしていくことを考えていかなければならない。		
説明員	今後の遊佐町総合交流促進施設株式会社との連携を見据えふらっとに卸している。R5に町内飲食店等に声掛けし、養殖場の見学会を実施した。		
委員	H27以前は採算が取れていたのか。		
説明員	県の機関だったので採算不明、湯野浜や温海の旅館に卸していたと聞く。		
委員	販売のPR以前の問題で、一般企業だったら事業中止ではないか。		
説明員	まずは継続してやっていきたいと考えている。		
外部評価の意見	委託業者との意思疎通を図り、飼育体制の強化に努めていただきたい。		

令和5年度 総合戦略外部評価ヒアリング 調書

事業名	水産業振興事業		
担当課	産業課	担当係	水産林業係
日時	2/19(月) 14:00~14:30		
質疑応答			
委員	現在の漁師の人数はどれくらいか。後継者、新規漁業者はいるのか。		
説明員	専業ではR5で25人くらい。後継者不足ではある、県内全体でも同様の状況で、県を挙げて新規漁業者獲得に力を入れている。危険、収入不安定でなり手が少ない。		
委員	R5の成果数値は年度末までに上がるか。		
説明員	漁協によると、少しは水揚げあるので上がると言われている。		
委員	魚等の放流事業はいつから実施しているか。		
説明員	把握できていないが、以前から実施してる。		
委員	毎年放流していてこの成果数値か。予算はいくらか。		
説明員	その通り。放流に関しては漁協にお願いしていてそれを入れると100~200万円くらい。		
委員	洋上風力が建設されたらどうなるか。		
説明員	R4~5で漁業者と発電事業者で話し合いをし、法定協議会の中で漁業振興策を練り上げてきた。説明は何度か受けており、風力発電が立つことで新しい漁場、新しい漁法も期待されるため、漁のエリアは狭くなるがメリットもある。点検等に漁船を使うことも考えられる。了承を得て事業を進めている。		
委員	なぜ中古船への助成か、新品へはないのか。		
説明員	R6は中古船購入の要望があったため記載した。		
外部評価の意見	県や県漁協と連携し、水産資源増大を図るために放流事業を継続していただきたい。		

令和5年度 総合戦略外部評価ヒアリング 調書

事業名	子どもセンター運営事業		
担当課	健康福祉課	担当係	子育て支援係
日時	2/19(月) 14:30~14:55		
質疑応答			
委員	子どもセンターのことを初めて知った。ぜひ継続していただきたい。		
委員	子どもセンターの放課後児童クラブは、放課後子ども教室とは別事業か。		
説明員	別の事業となる。放課後児童クラブ（いわゆる学童）は、福祉課の事業で町内には2つ、標準的な定員は約40名×2の80名で資格を持った方がいる。放課後子ども教室は、教育委員会の事業で地域の人によって運営をしているなどの違いがある。		
委員	様々な事業をやっている。今は器具の消毒など大変ではないか。		
説明員	コロナ禍は開場時間を短縮して消毒をしていた。今は、利用者に影響のない範囲で時間内に遊具の消毒を行っている。		
委員	おもちゃ等古くなってきているものもある、新しいものを入れる予定は。		
説明員	室内なので新規遊具は難しい。予算では人件費が大きく、光熱水費や修繕費、施設の維持に経費が大きくかかっている。職員は会計年度職員も含め、6名で運営している。有資格者と無資格者がいるので、調整して回している。		
委員	子どもたち、保護者の居場所があるのはとても良いことだと考える。		
委員	事故の無いような形ですすすめていただきたい。		
外部評価の意見	来館者が安心して利用できる施設づくりに努めていただきたい。		

令和5年度 総合戦略外部評価ヒアリング 調書

事業名	持家住宅リフォーム支援金事業		
担当課	地域生活課	担当係	管理係
日時	2/19(月) 14:55～15:15		
質疑応答			
委員	申請の1件当たりの額が上がっているとのことだが、全体の額は上がらないのか。		
説明員	上がらない。町の財政係からも限度額と言われている。 補助率が良い事業なので、これ以上額を増やすのは難しい。		
委員	リフォーム工事を行う事業者には支援はないのか。		
説明員	支援金を受けられる条件として、町内の事業者を対象とすることで、町内事業者の活用につながると考えている。		
委員	目標数値がR3から変わったのはなぜか。		
説明員	経済センサス（統計調査）の結果により、町内の事業所数が減ったため。		
外部評価の意見	町民の住環境の改善と、町内の地域経済の活性化及び雇用の維持拡大を図っていただきたい。		

令和5年度 総合戦略外部評価ヒアリング 調書

事業名	デジタル改革事業		
担当課	総務課	担当係	ICT推進室
日時	令和6年2月19日（月）13時30分～14時		
質疑応答 (発言者)			
委員	公式LINEは、リアルな情報が入ってきて私も活用している。震災時は子どもから大人まで活用できて便利だったが、1月1日の防災モードのLINEの情報がうまく見れなかった。		
委員	私も申告の予約がLINEでできると聞いて、登録した。それ以外にもよく見ると生活に役		
委員	閉設時間の情報は出なかったのか。		
説明員	開設した情報は出したが、閉設の情報は出していない。閉設の情報に関しては、庁内で調整して出せるようにしたい。庁内で情報を共有できるようグループウェアのようなものの導入を検討している。内部用と外部用で分けることで内部用で得た情報を、町民の皆さんに素早く情報発信ができると考えている。		
委員	デジタルだと、次の日になると前日のものが見つけられなくなるのに対し、LINEだと情報を探しやすく、お年寄りにも使いやすくていい。LINEは、Wi-fiの機能がなくても使うことができるのか。		
説明員	スマホの通信契約さえしてれば使うことができる。また避難所であれば公衆無線LANがあるためWi-fiを使うことができ、災害時はパスワード入れなくても使えるモードにも変更可能。5年前くらいから体育館などは使えるようになっており、避難所でLINEを使っている情報確保ができる。元旦の震災の影響でLINEの必要性を感じることができた。		
委員	私もテレビではなく、LINEで遊佐町の情報を得た。また、スマホを使うにあたり、ICTでしているスマホ道場がある。のぼりが立っていると、友だちを誘って行っている。		
委員	LINE登録者の年齢は。		
説明員	登録時に任意で入力してもらうので、入力してくれた人のデータしかない。		
委員	私のような人をどう引き込めばいいのかが課題だと思う。		
説明員	スマホ教室に出ると、スマホを準備してくれて基本操作を教えてくれる。スマホ道場はスマホを持っている人向けのため、まずは教室に参加していただきたい。		
委員	まち協でスマホ教室を実施する場合、年齢制限はあるのか。		
説明員	年齢制限はない。スマホ教室の業者と話し合い、それに合わせた教室ができる。		
委員	スマホ教室はどれくらいの頻度でやっているのか。		
説明員	各地区1回以上はしているもので、10回ほどはやっている。5人以上であれば実施可能なので、各集落でもすることができる。また、来年は出前講座のメニューに「スマホ道場」も入れたのでより集落で使いやすくなった。		
外部評価の意見	友達登録者数の増により、災害時の有効活用と円滑な情報発信で行政オンライン化を目指していただきたい。		

令和5年度 総合戦略外部評価ヒアリング 調書

事業名	デジタル人材育成事業		
担当課	総務課	担当係	ICT推進室
日時	令和6年2月19日（月）14時～14時20分		
質疑応答 (発言者)			
委員	要綱に遊佐高校と記載があるのはなぜか。		
委員	対象を町民と遊佐高校に通っている人としている。つまりは遊佐高校に通っていれば、町内出身者でなくとも対象となる。住所が町にない大学生も対象となっている。		
委員	遊佐高校が対象ということで、何か説明していることはあるのか。チラシやホームページだけでなく、直接出向いて説明するというやり方は可能なのか。		
説明員	酒田の高校であれば町民の数が少ないので説明が難しいが、遊佐高校であれば可能。来年度は町民に向けた説明会を実施予定なので、興味があれば来ていただきたい。		
委員	合格率はどれくらいなのか。		
説明員	詳細な数字は分からないが、高校で勉強する教科書を覚えればITパスポートはある程度合格するチャンスが高い。他の科目は苦手だが、情報の科目で得点できれば大学の幅が広がる。		
委員	対象者が町内とあるが、例えば大学や就職で住所を変更した人は対象にならないのか。		
説明員	親が町内で扶養されていれば対象となる。この取組は再度遊佐町に戻ってくることを意識して整備したものである。		
外部評価の 意見	制度の告知方法を更に工夫し、町内におけるデジタル人材の育成及び需要の創出を図っていただきたい。		

令和5年度 総合戦略外部評価ヒアリング 調書

事業名	遊佐高校魅力化地域連携支援事業		
担当課	企画課	担当係	企画係
日時	令和6年2月19日（月）14時25分～14時45分		
質疑応答 (発言者)			
委員	教育コーディネーターの雇用形態はどうなっているのか。		
説明員	町との委託契約になっている。現在は、本人の体調面に不調もあって勤務状況に至っていない。4月から新規で募集しており、最低1名は採用できる見込み。週に3回は高校、週に2回は役場で勤務予定。委託料の詳細は後日お伝えする。		
委員	体験プログラムの内容はどんなものか。		
説明員	しらい自然館でBBQをしたり、海に行くと聞いている。		
委員	授業料半額助成になる条件を満たしている人はいるのか。		
説明員	後日お伝えする。（→R5年度は4人）		
委員	制度が遊佐町に浸透してきている。少年議会やハンガリー派遣団員もしており、刺激を与えているように思う。達成率の数字がいいので今後も続けてもらいたい。卒業した後も、地元の大学に残る人もいて素晴らしい。		
委員	地元出身の遊佐高生と留学生は仲良くやっているのか。		
委員	実はここ最近、遊佐高校の生徒会長は留学生に取られている。		
説明員	地元の生徒が肩身の狭い思いをしていたとしたら本末転倒であるので、配慮したい。		
委員	留学生が遊び行くときは、ぜひ地元の生徒も連れて行ってほしい。		
説明員	令和5年度の遊佐高校の地元出身者は4人しかいない。年々減っているのが気になる。		
委員	地元の大学に進学をした人は遊佐町に住んでいるのか。		
説明員	2人とも東北公益文科大学の酒田寮に住んでいる。		
委員	留学生が遊び行くときの範囲が狭いのではないか。例えばではあるが三川イオンに遊びに行けるお買い物ツアーがあればいい。		
説明員	ハウスマスターが個人的に車を出すことはなく、個人で準備するしかない。		
委員	ぜひとも交流を増やしてほしい。		
外部評価の意見	地域みらい留学生の地元定着数の増は、生徒の希望等もあり、課題がある。一方で、地元中学生の遊佐高に対する理解を得ながら、新しい制度をつくっていただきたい。		

令和5年度 総合戦略外部評価ヒアリング 調書

事業名	共同宣言に基づく連携と実践		
担当課	企画課	担当係	企画係
日時	令和6年2月19日（月）14時45分～15時10分		
質疑応答 (発言者)			
委員	共同宣言3者の組織図の確認をしたいのと、庄内交流会の様子を写真等で確認したい。また、議会で否決された餅加工場をどう見ているのか。		
説明員	組織図と交流会の様子は後日お伝えする。餅加工場は、事業計画が甘いのではないかと いうことで否決された。今後、空き校舎の利活用も含め検討していく。		
委員	基金の助成事業についての応募資格を知りたい。		
説明員	応募対象は庄内地域に住む者、住む予定の者、これから庄内地域を基盤に活動する2名 以上の者となっている。		
委員	1月に学習会をしているが参加した人はどんな感じか。		
説明員	共同宣言事業関係者に加え、町議員全員と若手の職員に参加してもらった。		
委員	令和2年～5年の目標数値が消えているのはどうしてか。		
説明員	後日確認後、訂正する。（→チェックシートを修正）		
外部評価の 意見	関係団体との連携を更に図り、産地の魅力発信・産地くらしを進めていただきたい。		